

令和5年度北海道大学法学部
第3年次編入学試験「専門科目試験問題紙」

14:50～16:50

解 答 上 の 注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は2ページです。（表紙を除く）
3. 解答用紙は両面2枚です。
4. 受験番号（上下2箇所）は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。

問題 1

以下の各問いにすべて答えなさい。

問 1 職業選択の自由に関する、いわゆる「規制目的二分論」について、(1) 問題の所在、(2) 判例、(3) 学説について説明した後で、(4) 自分の考えを述べなさい。(25 点)

問 2 違憲審査権の性格について、(1) 問題の所在、(2) 判例、(3) 学説について説明した後で、(4) 自分の考えを述べなさい。(25 点)

問題 2

以下の各問いにすべて答えなさい。

問 1 デモクラシーという政治体制には、政策決定のためのレファレンダムと政策決定者を決定する選挙という、手続き的な二つのデモクラシーのタイプがあり、今日の多くの民主体制は両者を混合した形態をとっている。では、この体制下で、政策の相対的な重要度の違いに応じて、レファレンダムと選挙をどのように使い分けたらよいか。二つのタイプそれぞれについて、あえて一方を採用すべき理由を、具体的な例を挙げつつ、論じなさい。 (30 点)

問 2 以下の (ア) ~ (ウ) より、2つの事項を選択し、それぞれ説明しなさい。
(各 10 点)

- (ア) 沈黙の螺旋 (the spiral of silence)
- (イ) クォータ制 (quota system)
- (ウ) 安全保障のジレンマ (the security dilemma)